

# 武蔵野市 市民の健康づくりに関するアンケート調査の報告 【概要版】

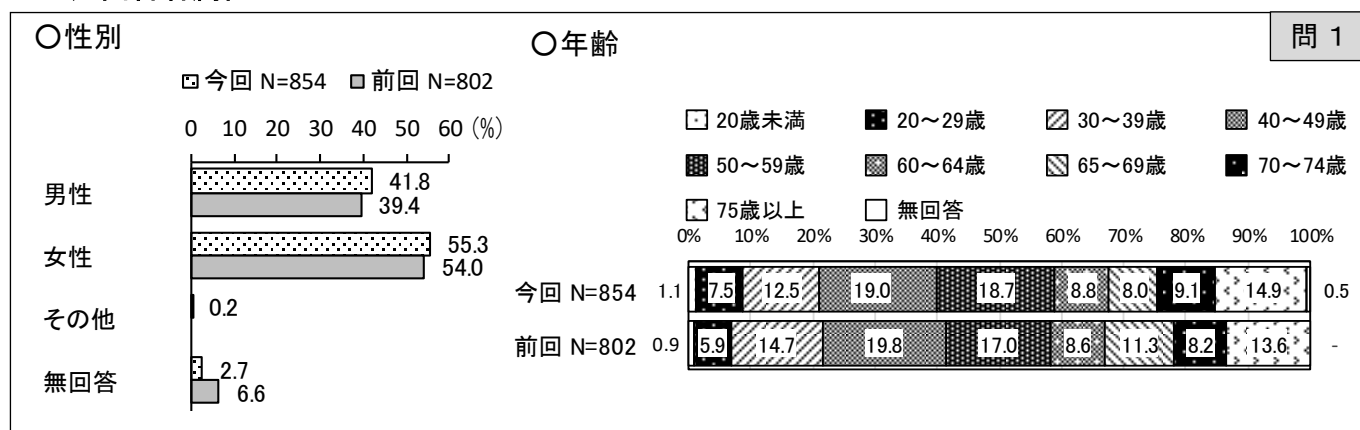
## 1 調査の概要

- ◇調査目的 武蔵野市健康推進計画・食育推進計画等の見直し（令和 5 年度）にあたり、市民の健康づくりや食育に関する意識や関心、ニーズ等を把握し、検討のための基礎資料とするため実施した。
- ◇調査対象者 武蔵野市内に住所を有する 18 歳以上の市民 2,000 名（令和 4 年 10 月 1 日時点、無作為抽出）
- ◇調査期間 令和 4 年 11 月 1 日から 11 月 25 日まで
- ◇調査方法 郵送配布・郵送回収または WEB 回答併用（督促を兼ねたお礼状を 1 回発送）
- ◇回収状況 配布数：2,000 件、回収数：854 件、回収率：42.7%（前回調査（平成 28 年）：40.1%）  
※郵送：27.4%、WEB：15.3%

## 2 結果の概要

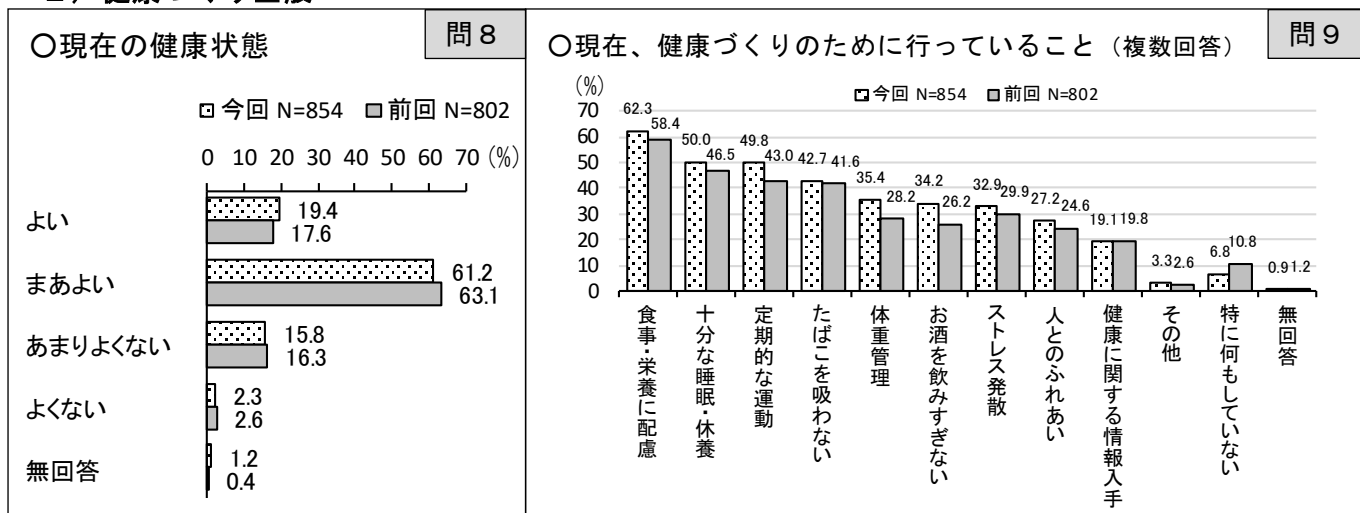
※前回・平成 28 年調査

### 1) 回答者属性



- ◇回答者の性別は、「女性」が 55.3%、「男性」が 41.8%である。
- 回答者の年齢は、30～59 歳で 50.2%と半数を占める。

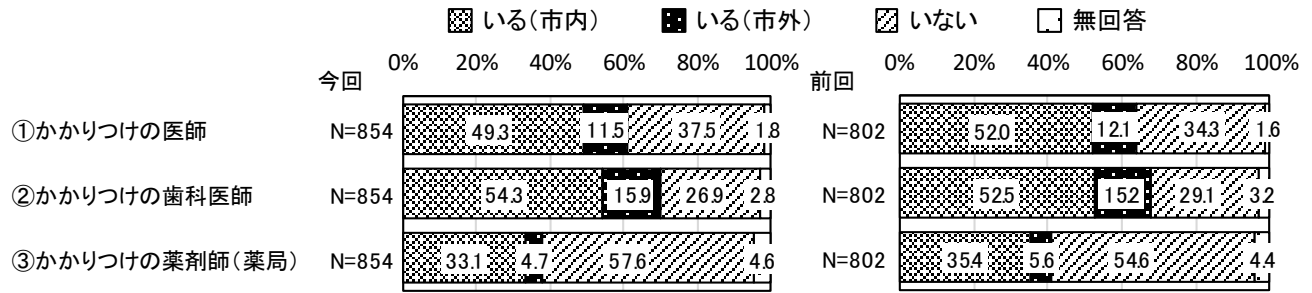
### 2) 健康づくり全般



- ◇現在の健康状態は、『よい』（「よい」＋「まあよい」）が 80.6%である。
- ◇健康づくりのために行っていることは、「食事・栄養に配慮」が 62.3%と最も多く、「十分な睡眠・休養」（50.0%）、「定期的な運動」（49.8%）、「たばこを吸わない」（42.7%）と続いている。

○かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師の有無

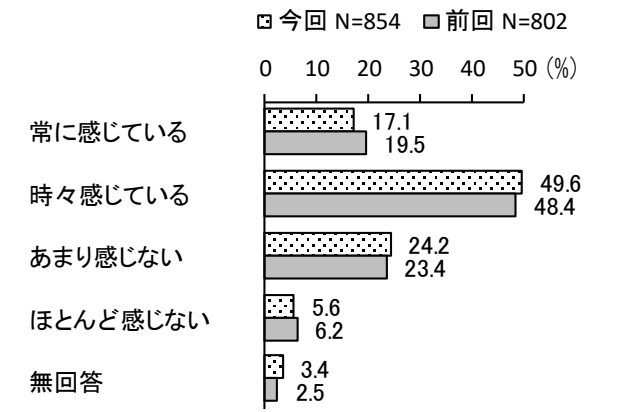
問 10



◇かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師が、「いる(市内)」は医師が49.3%、歯科医師が54.3%、薬剤師が33.1%となっている。

3) 休養・こころの健康

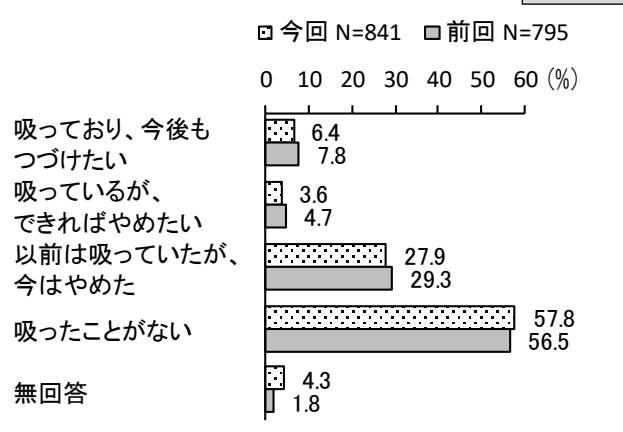
○悩みやストレスを感じることもあるか 問 27



◇悩みやストレスを感じることもあるかでは、『感じている』(「常に感じている」+「時々感じている」)が66.7%である。

4) 喫煙の状況等

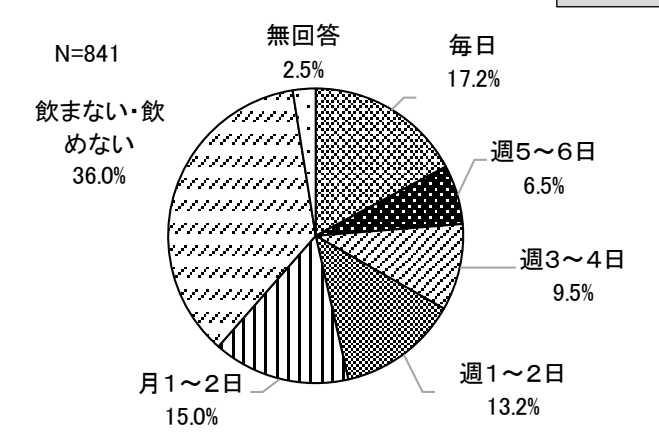
○現在の喫煙状況【20歳以上の方のみ】 問 30



◇現在の喫煙状況は、非喫煙者が85.7%で、喫煙者は10.0%である。

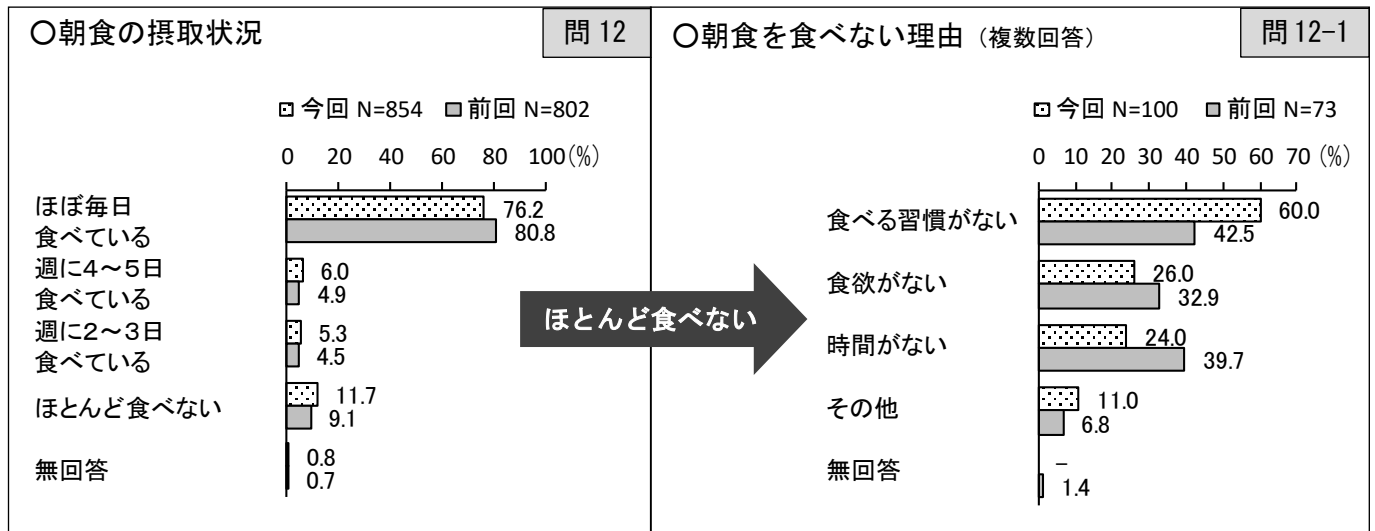
5) 飲酒の状況等

○現在の飲酒状況【20歳以上の方のみ】 問 32



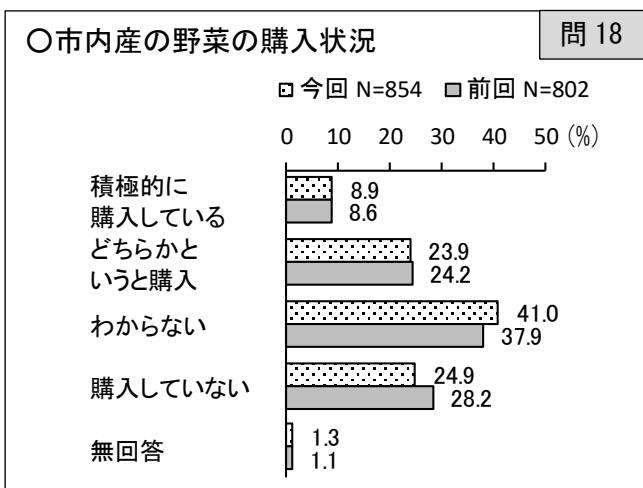
◇現在の飲酒状況は、週1日以上飲酒する人は46.4%で、うち「毎日」は17.2%である。一方、飲まない・飲めない人は36.0%である。

## 6) 日頃の食生活

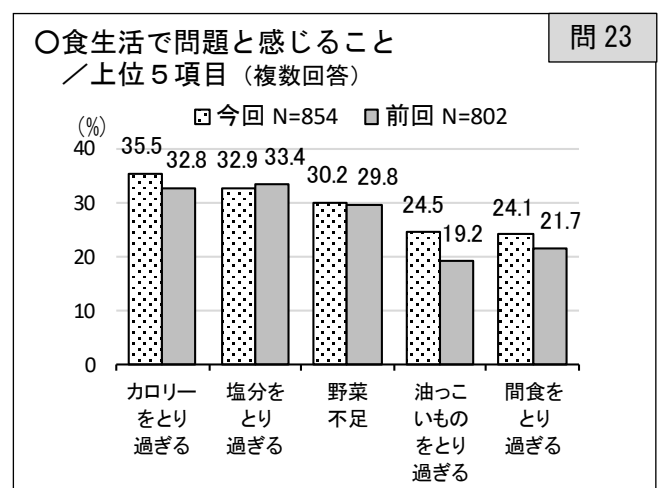


◇朝ごはんを「ほぼ毎日食べている」は76.2%、週に6日未満（「週に4～5日食べている」＋「週に2～3日食べている」＋「ほとんど食べない」）は23.0%である。

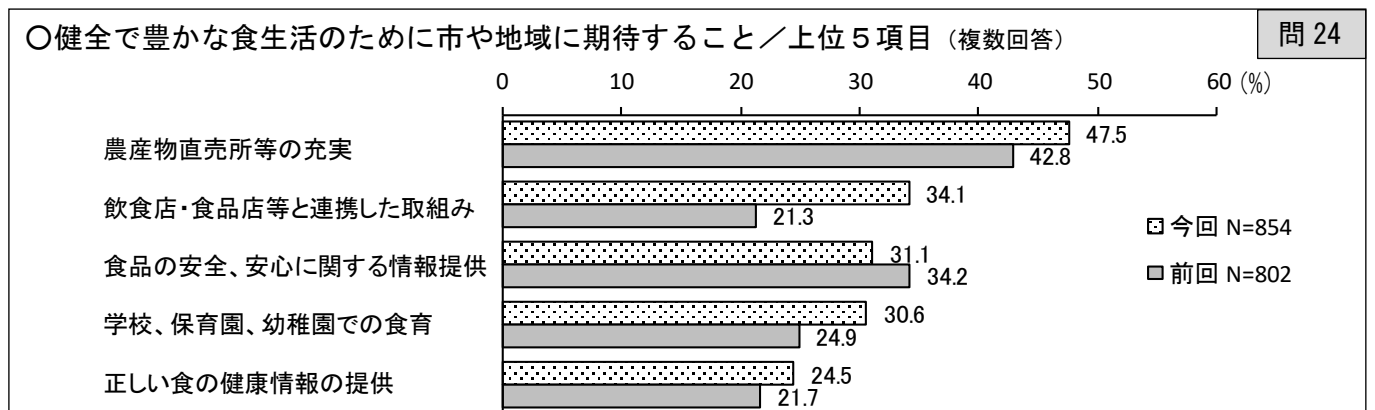
◇朝食を食べない理由は、「食べる習慣がない」が60.0%と最も多い。



◇市内産の野菜を『購入している』（「積極的に購入している」＋「どちらかというで購入している」）は32.8%である。

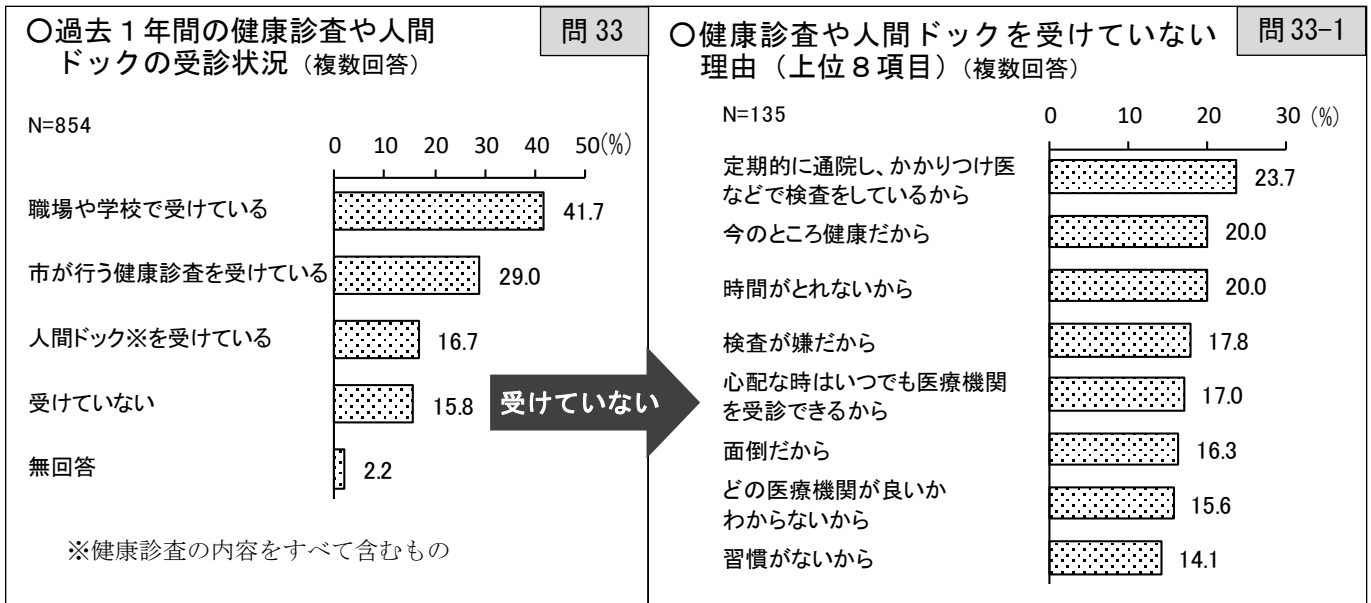


◇食生活で問題と感ずることは、「カロリーをとり過ぎる」(35.5%)、「塩分をとり過ぎる」(32.9%)、「野菜不足」(30.2%)が3割台で続いている。

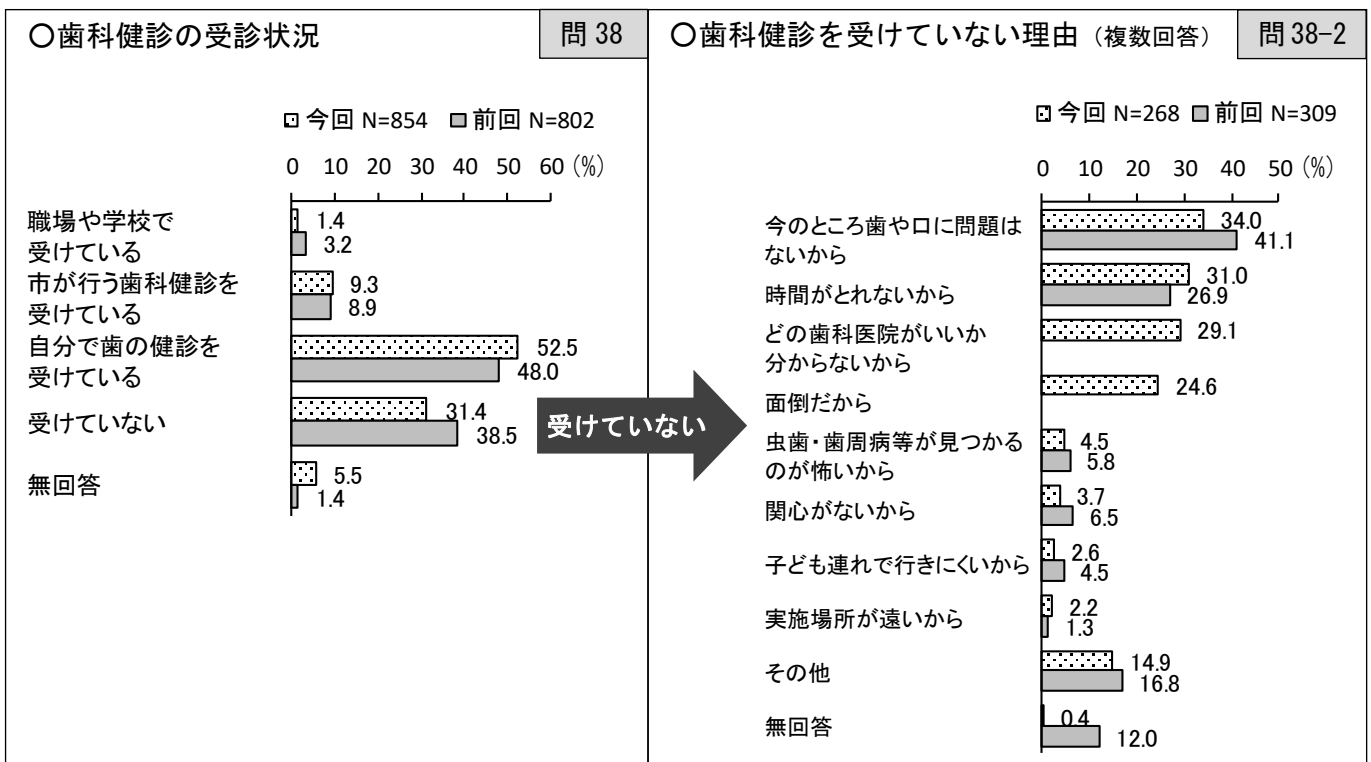


◇健全で豊かな食生活のために市や地域に期待することは、「農産物直売所等の充実」が47.5%と最も多く、「飲食店・食品店等と連携した取組み」が34.1%で続いている。

## 7) 健康診査等



- ◇過去1年間の健康診査や人間ドックの受診状況は、「職場や学校で受けている」が41.7%と最も多く、「市が行う健康診査を受けている」が29.0%、「人間ドックを受けている」が16.7%で続いている。
- ◇受けていない理由は、「定期的に通院し、かかりつけ医などで検査をしているから」が23.7%で最も多い。

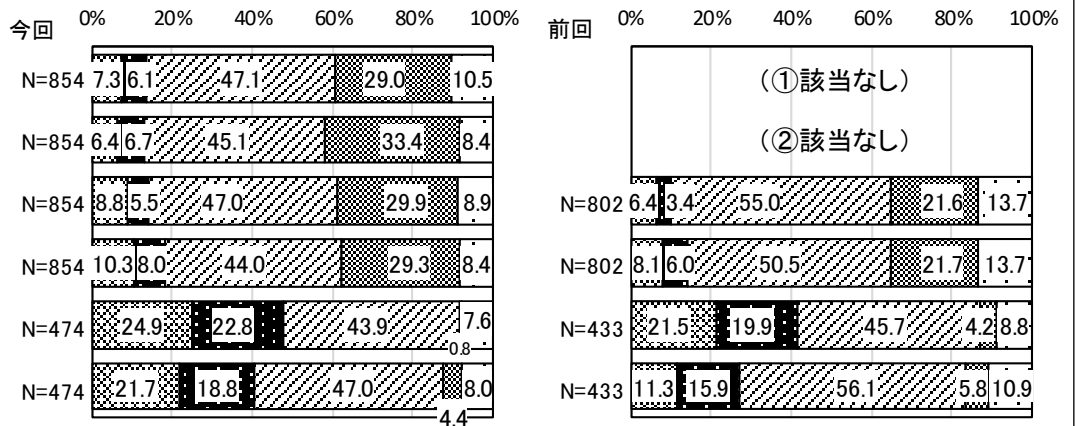


- ◇定期的な歯科健診を『受診している』（「自分で歯の健診を受けている」＋「市が行う歯科健診を受けている」＋「職場や学校で受けている」）は63.2%である。
- ◇受けていない理由は、「今のところ歯や口に問題はないから」が34.0%と最も多く、「時間がとれないから」が31.0%で続いている。

○各種がん検診の認知・受診頻度

問 35

- 定期的に受診している
- ときどき受診している
- ▨ 知っているが、受診したことはない
- ▨ 知らない
- 無回答



◇各種がん検診の認知・受診頻度は、いずれの検診においても「知っているが、受診したことはない」が4割台と最も多い。「定期的に受診している」は⑤子宮頸がん検診及び⑥乳がん検診で2割台と他の検診より多くなっている。

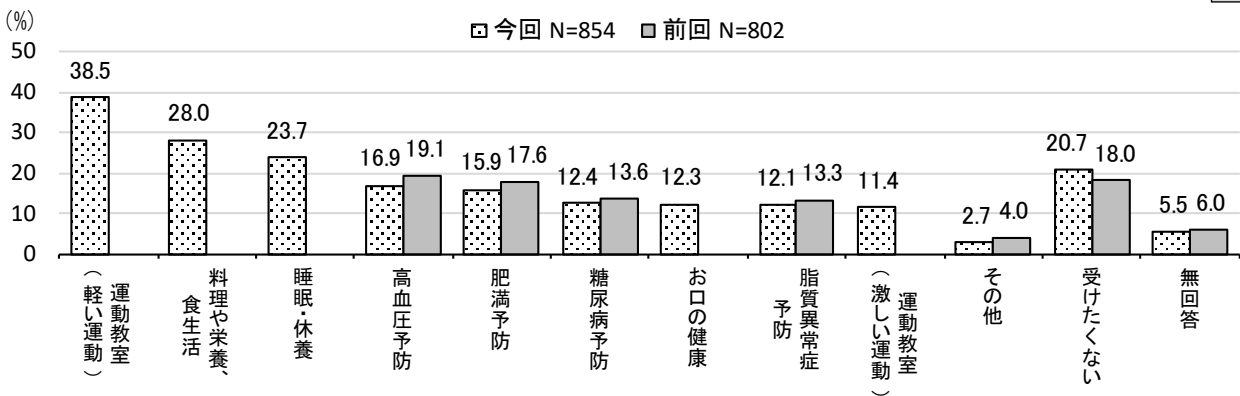
知っているが、  
受診したことはない

○受診しない理由／上位3項目（複数回答）

	1位	2位	3位
①胃がんエックス線検診	人間ドックを受けているから (24.6%)	職場の検診を受けているから (20.9%)	今のところ健康だから (18.2%)
②胃がん内視鏡検診	人間ドックを受けているから (21.0%)	今のところ健康だから (19.0%)	対象年齢でないから (17.4%)
③肺がん検診	人間ドックを受けているから (23.4%)	職場の検診を受けているから (20.7%)	今のところ健康だから (20.4%)
④大腸がん検診	人間ドックを受けているから (24.2%)	今のところ健康だから (19.7%)	職場の検診を受けているから (18.1%)
⑤子宮頸がん検診	今のところ健康だから (23.1%)	検査が嫌だから (23.1%)	職場の検診 (16.8%) 人間ドック (16.8%)
⑥乳がん検診	対象年齢でないから (20.6%)	今のところ健康だから (15.7%)	人間ドックを受けているから (15.7%)

○参加したい生活習慣改善講座（複数回答）

問 34

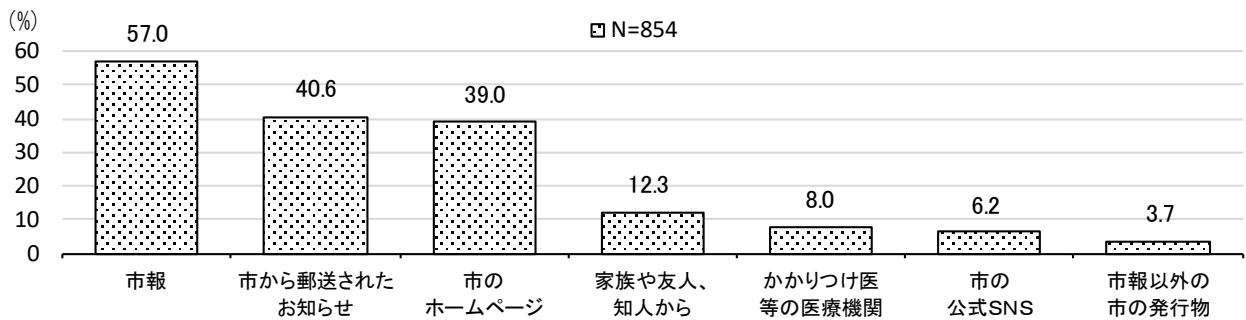


◇参加したい生活習慣改善講座は、「運動教室（軽い運動）」が38.5%で最も多く、「料理や栄養、食生活」が28.0%で続いている。

## 8) 感染症に関する危機管理

○市が実施する新型コロナウイルスワクチン接種事業についての情報収集方法／上位7項目（複数回答）

問 43

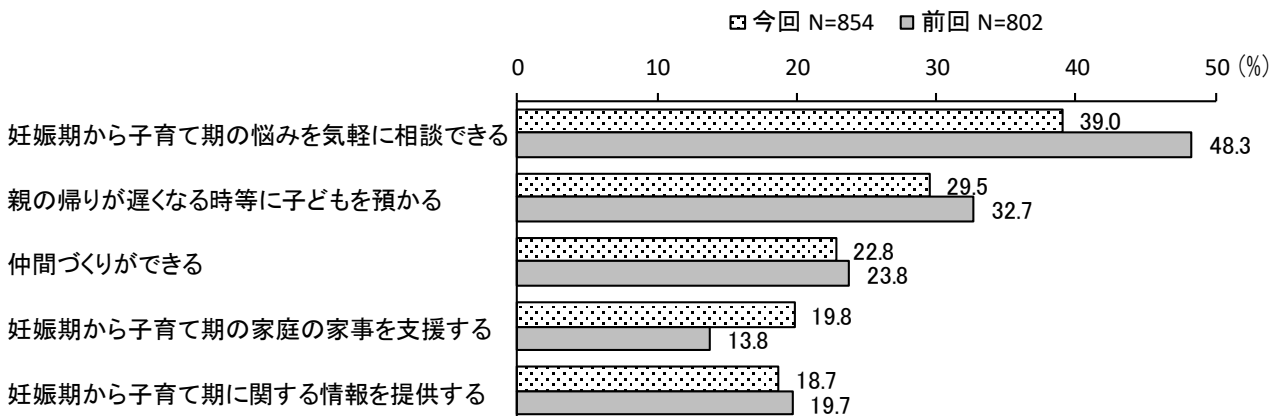


◇市が実施する新型コロナウイルスワクチン接種事業についての情報収集方法は、「市報」が57.0%で最も多く、「市から郵送されたお知らせ」が40.6%、「市のホームページ」が39.0%で続いている。

## 9) 子育て支援

○子育て家庭を支えるための施策／上位5項目（複数回答）

問 44

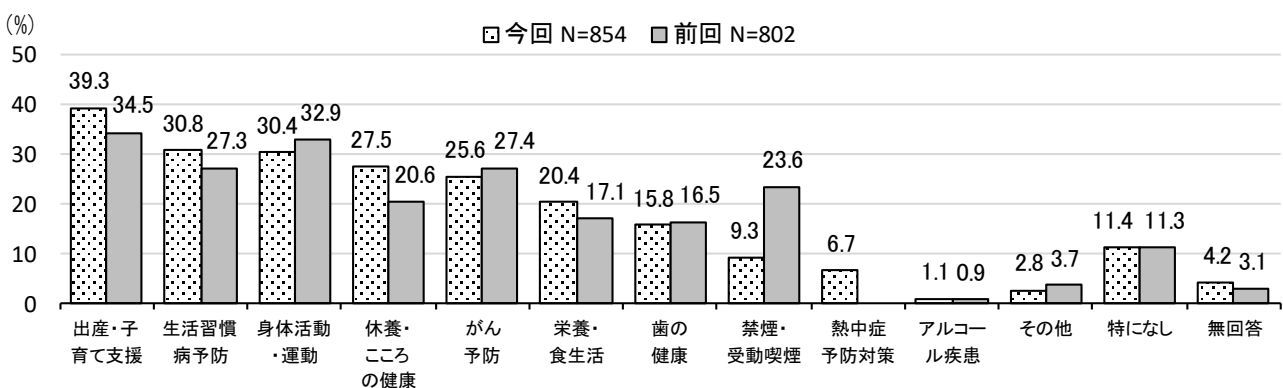


◇子育て家庭を支えるためにあると思う施策は、「妊娠期から子育て期の悩みを気軽に相談できる」が39.0%で最も多く、「親の帰りが遅くなる時等に子どもを預かる」が29.5%で続いている。

## 10) 市の健康づくり施策

○市に重点的に取り組んで欲しい項目（複数回答）

問 48



◇市に重点的に取り組んで欲しい項目は、「出産・子育て支援」が39.3%と最も多く、「生活習慣病予防」、「身体活動・運動」が3割台、「休養・こころの健康」、「がん予防」、「栄養・食生活」が2割台で続いている。

# 妊娠届出書、乳幼児健診票の集計の報告

## 【概要版】

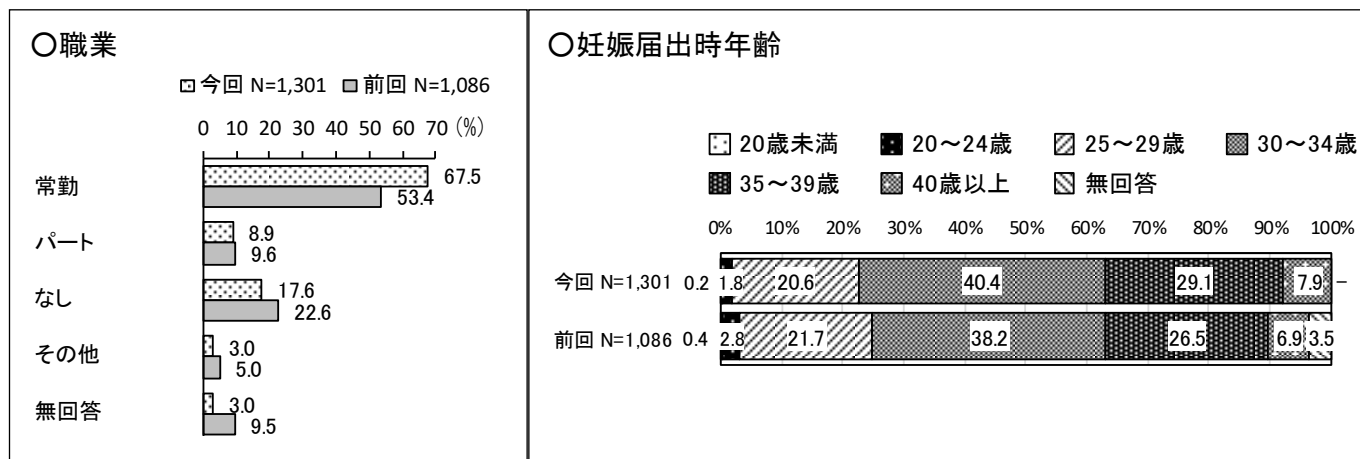
### 1 調査の概要

- ◇調査目的 武蔵野市健康推進計画・食育推進計画等の見直し（令和 5 年度）にあたり、妊婦及び乳幼児（保護者）の現状や意識を把握し、検討のための基礎資料とするため実施した。
- ◇調査対象者 妊婦、3～4 か月児健診・1 歳 6 か月児健診・3 歳児健診を受診した乳幼児の保護者
- ◇調査期間 令和 3 年 4 月から令和 4 年 3 月までの妊娠届出時、  
令和 3 年 4 月から令和 4 年 3 月までに実施された乳幼児健診時
- ◇調査方法 妊娠届出書、乳幼児健診票に記載された内容をもとに分析
- ◇回収状況 妊娠届出書：1,301 件、乳幼児健診票：3,142 件（3～4 か月児：1,074 件、1 歳 6 か月児：1,060 件、3 歳児：1,008 件）

### 2 結果の概要

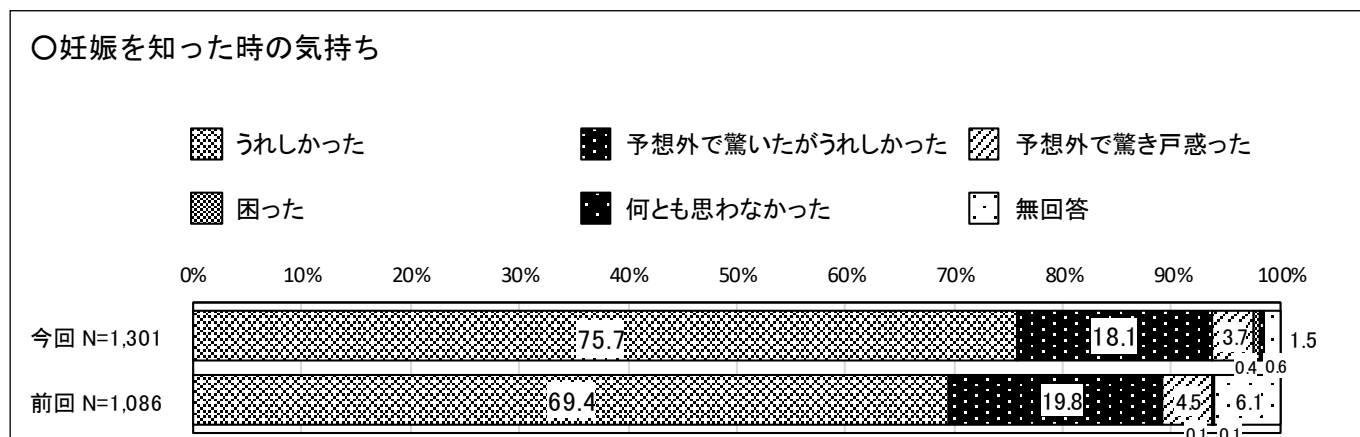
※前回・平成 28 年調査

#### 1) 妊婦



◇職業は、「常勤」が 67.5%、「パート」が 8.9%で、勤務している人は 76.4%となっている。

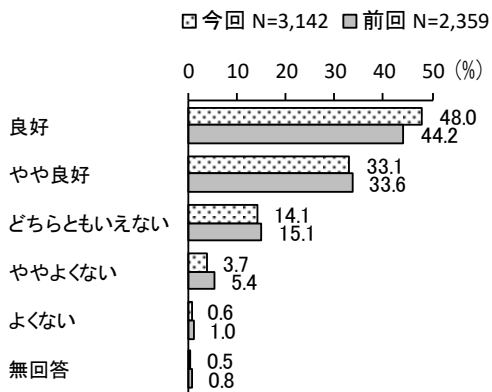
◇妊娠届出時年齢（母親）は、『30 歳代』（「30～34 歳」＋「35～39 歳」）が 69.5%、『20 歳代』（「20～24 歳」＋「25～29 歳」）が 22.4%である。



◇妊娠を知った時の気持ちは、『うれしかった』（「うれしかった」＋「予想外で驚いたがうれしかった」）が 93.8%を占めている。

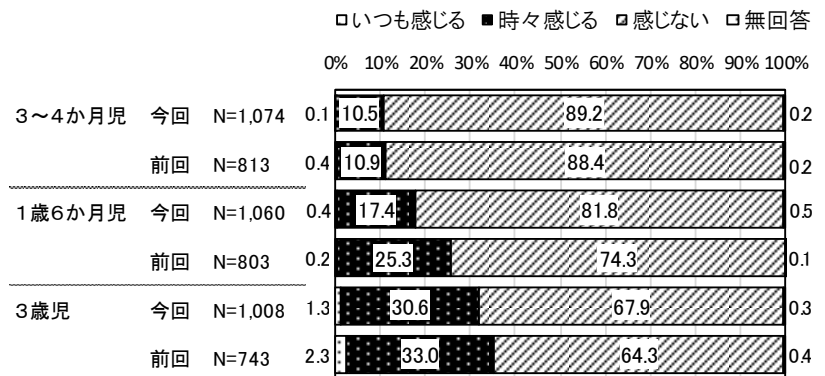
## 2) 乳幼児保護者

### ○最近の心身の調子



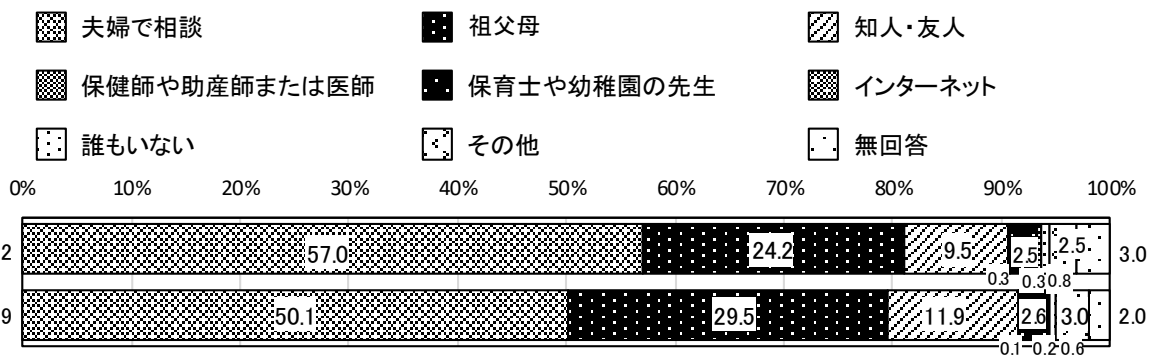
◇最近の心身の調子は、『良好』（「良好」＋「やや良好」）が81.1%である。

### ○育てにくさを感じる



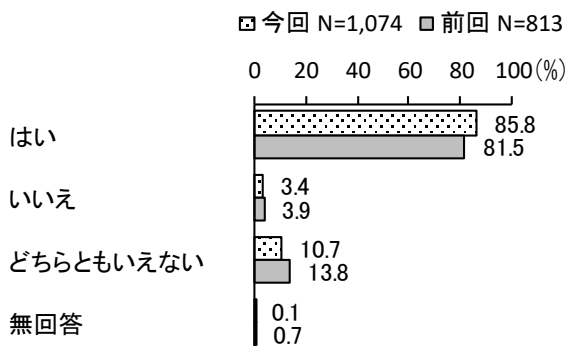
◇育てにくさを『感じる』（「いつも感じる」＋「時々感じる」）は3~4か月児で10.6%であるが、子どもの成長につれて育てにくさを感じている人が増え、3歳児では31.9%となっている。

### ○日常の育児の相談相手



◇日常の育児の相談相手は、「夫婦で相談」が57.0%と最も多く、「祖父母」が24.2%で続いている。

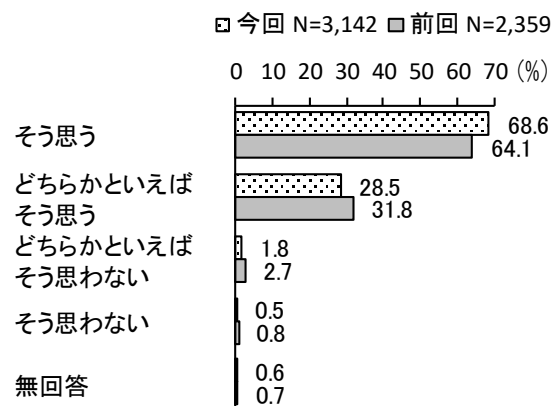
### ○助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができたか



※3~4か月児保護者のみ

◇助産師や保健師等からの指導・ケアを十分に受けた（「はい」）は85.8%、一方、受けていない（「いいえ」）は3.4%である。

### ○この地域で今後も子育てをしていきたいか



◇この地域での子育て希望は、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が97.1%である。